1 他施設事例(海南nobinos(ノビノス))

<基礎情報>

所在地 : 和歌山県海南市(人口約4万8千人(R2国調))

整備時期 : 令和2年オープン

整備事業費:約36億8千万円(うち建築費用:28億6千万円)

<施設概要>

フロアと静かなフロアがゾーン分けされた誰もが利用しやすい交流拠点施設

施設機能 :図書館、子育て支援(屋内あそび場、一時預かり)、市民活動支援

延床面積 : 約7,900㎡

フロア構成: 【1階】 駐車場(津波被害を想定)、音楽練習室

【2階】 絵本のフロア、カフェ(スタバ)、市民ホール、多目的室、

託児室など

【3階】 児童書のフロア

【4階】 メインライブラリーフロア、会議室

【屋外】 ひさし付広場、遊具

く来館者数等>

年間来館者数:約61万4千人(R6)



(外観)



(図書館(玄関ホール))



(屋内のあそび場) ※市外住民も利用可能な託児室も併設



(多目的室)

他施設事例(海南nobinos(ノビノス))







- 色使いやデザイン性にこだわり、開放的で明るい施設
- 読んでみようと思えるような、手に取り やすく表紙の見える低めの書架
- 誰もが利用しやすいよう書架の配置や通 路間隔の配慮
- 持ち込んだものを飲食可能なスペース
- 押し入れのようなブース席や、寝転がる ことのできるスペースなど、遊び心をく すぐるデザイン



- 大人向けの静かなメインライブラリーフ ロア
- 閲覧席や学習席が多数設置され、様々な 年代の利用者がゆったりとくつろげる。



- 発表会やイベントなど、幅広く利用できる254席の市民ホール
- 収納可能な可動客席により、汎用性を 高めている。

他施設事例(あやテラス)

<基礎情報>

:綾部市(人口約3万2千人(R2国調)) 所在地

整備時期 : 令和5年オープン 整備事業費:約18億4千万円

<施設概要>

特徴 : 3つの施設機能を併せ持った複合施設。

• 図書館は、誰もが親しみやすく気軽に利用できる施設を目指す。

「あやっこひろば」は、ベビーエリア、ロールプレイエリア、アクティブ エリアにゾーニングし、悩み相談もできる子育てひろばとして整備

• ホールは、ケータリングによる飲食を伴う催しも可能な多目的ホール

: 図書館、子育て支援(屋内あそび場「あやっこひろば」)、 施設機能

地域交流センター(ホール)

延床而積 : 約3.000㎡

フロア構成:【1階】 屋内あそび場(あやっこひろば)、図書館

> 図書館、地域交流センター(ホール) 【2階】

<来館者数等>

図書館 年間来館者数 :約4万3千人(移転前(R4)⇒約19万8千人(R6、重複含む)

あそび場 年間利用者数:約4万2千人(R6) ホール 年間利用者数 : 約1万4千人(R6)



(図書館(おはなしのへや、児童書等))





(ベビーエリア)



(アクティブエリア)

3 他施設事例(子育て支援センター「にっこりあ」)

<基礎情報>

所在地 : 宮津市(人口約1万7千人(R2国調))

整備時期 : 平成29年オープン

整備事業費:約11億3千万円(図書館等含む福祉・教育総合プラザ移転に係る経費総額)

<施設概要>

特徴 : 商業施設「ミップル」の4階に所在し、同じ階に「市役所の福祉・教育部局」、

同施設3階には「市立図書館」と「コミュニティルーム」が整備され、複合施設となっている。のびのびと体を動かして遊べるエリアから乳幼児エリアまで、多種多様な遊具・玩具が揃う。休憩室や相談室が併設され、市民向け

の託児サービスも提供

施設機能 :子育て支援(屋内あそび場、一時預かり)

延床面積 : 約500㎡ (「にっこりあ」のみ)

<来館者数等>

年間利用者数:約5千人(移転前の子育て支援センター利用者数(H28))

⇒約2万1千人(R6)









4 他施設事例(子育て交流施設「あそびあむ」)

<基礎情報>

所在地 : 舞鶴市(人口約8万人(R2国調))

整備時期 : 平成27年オープン 整備事業費: 約8億1千万円

<施設概要>

特徴 :子どもと大人が一緒に遊ぶことで健全な発達を促進することを目的として、

広い1フロアの中で動のエリア、静のエリア、中庭エリアと多種多様な遊びの

機会を提供する全天候型のあそび場施設

施設機能 :子育て支援(屋内外あそび場)

延床面積 : 約1,300㎡

<来館者数等>

年間利用者数:約5万9千人(R6)



(O.1.2歳エリア)





(O.1.2歳エリア)



(中庭エリア)

5 京丹後市イベント実績(1日こども広場)

<概要>

目 的 : イベントを通じて、天候に左右されず遊ぶことのできるあそび場を求める子

育て世代からのニーズの充足を図ること。また、都市拠点公共施設整備の在り

方等の参考とするためのニーズ調査や機運醸成につなげること。

実施時期 :令和6年10月20日、27日、11月10日(市内3会場で3日間開催)

対 象:市内在住の乳幼児~小学校3年生の児童及び保護者

実施内容 : 会場にこころ・頭・からだをバランスよく使う様々な遊具を設置した、屋内

のあそび場イベント

併せて、屋内のあそび場にあるとうれしい遊具やあそび場に求める機能、都 市拠点公共施設に求める子育て支援関連の機能やスペース等についてのアン

ケートを実施

峰山会場では、子育て団体及び福祉団体と連携した情報発信コーナー、親子

ふれあい遊び、相談コーナー等を実施

<来場実績>

のべ221組、672人(こども367人)が来場

〈アンケート結果〉

遊具やあそび場に求める機能についての設問では、体を使ってのびのびと遊べる遊具、機能を求めるご意見が最も多く、都市拠点公共施設に求める子育て関連機能についての設問では、天候に左右されずのびのびと遊べる屋内のあそび場を求めるご意見が最も多く、ついで、飲食スペース、児童書・絵本スペースが多いという結果であった。







